

## D37 脅威情報とセキュリティ対策

【受講対象】

### 【概要】

社内の情報セキュリティを維持するために、セキュリティポリシーの必要性を理解し、セキュリティ対策に必要な知識と技能を習得する。

情報セキュリティの脅威に対する対策・対応の基本を習得したい管理者や中堅層

会場：独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構 愛知支部 中部職業能力開発促進センター  
(ポリテクセンター中部) (小牧市下末1636-2)

講師：伊藤 彰規 (株式会社東京ナレッジプラン)

### カリキュラム

<p>■ 脅威情報</p> <p>《1.5h》</p>	<p><u>ウィルス・マルウエア</u></p> <p>ウィルスとは何か、マルウエアとは何かを実際に起こった事象を基に解説する。</p>
	<p><u>標的型攻撃</u></p> <p>標的型攻撃とは何かについて、実際に攻撃を受けたときにどうなるかという事象を基に解説する。</p>
	<p><u>フィッシングサイト</u></p> <p>フィッシングサイトとは何かについて、実際の事例を基に解説する。</p>
	<p><u>情報漏洩による損害</u></p> <p>実際に発生した情報漏洩事件を基に、その被害、対応について解説する。</p>
	<p><u>個人情報漏洩の事例と対応</u></p> <p>個人情報漏洩の事例とその被害、対応について解説する。</p>
<p>■ セキュリティポリシー</p> <p>《2h》</p>	<p><u>セキュリティ対策の考え方</u></p> <p>企業がセキュリティ対策を進めていく上で、どういう考え方に基づいて進めていくのが良いかを解説する。</p>
	<p><u>セキュリティポリシーの必要性</u></p> <p>企業がなぜセキュリティポリシーを作らなければならないのかについて解説する。</p>
	<p><u>個人情報保護に対する対応</u></p> <p>個人情報保護に対する対応について解説する。</p>
	<p><u>セキュリティ対策規定集の作成</u></p> <p>一般的にどのようなセキュリティ規定集を作るのが良いかを実際の例を使用して解説する。</p>
	<p><u>管理体制</u></p> <p>セキュリティ規定などの策定をそれを管理していくべき体制について解説する。</p>
<p>■ セキュリティ対策手法</p> <p>《1.5h》</p>	<p>&lt;演習&gt;</p> <p>問題形式で復習</p>
	<p><u>ウィルス対策及びセキュリティパッチの適用</u></p> <p>ウィルス対策、セキュリティパッチの適用など一般的なウィルス対策について解説する。</p>
	<p><u>パケットフィルタリング</u></p> <p>パケットフィルタリングとは何か、またどのような使い方をするのが良いのかについて解説する。</p>
	<p><u>アプリケーションレベル・ゲートウェイ</u></p> <p>アプリケーションレベル・ゲートウェイとは何か、またどのように適用していくのかについて解説する。</p>
<p>■ 演習</p> <p>《1h》</p>	<p><u>不正侵入検知</u></p> <p>不正侵入検知についてその技法や使い方について解説する。</p>
	<p>&lt;演習&gt;</p> <p>自社におけるセキュリティ対策規定集を作成する。規定集を作成するに当たり、どのように情報を収集し、まとめていくかを演習の中で理解して頂く。</p>